

当たり前の日常の有難さ

進級、入学おめでとうございます。

新型コロナウイルスの影響で再び学校が臨時休校になりました。新年のスタートを楽しみにしていただけに大変残念ですが、世界的な非常事態であることを自覚し、まず、自分から感染拡大防止に取り組んでいきましょう。

臨時休校期間が長期になり、久しぶりに登校して友だちと再会した時や、部活動で久しぶりに友だちと活動した時の気持ちを忘れないで下さい。

「学校に登校する」「友だちと一緒に過ごす」「部活動をする」など、今まで当たり前と思っていた日常が、どれだけ有難いことかを感じた人も多かったのではないのでしょうか。私たちは、日常にあふれている「有難さ」に気づかず、感謝する気持ちを忘れているのかもしれない。非常事態のおかげでそのことに気づかされ、感謝することの大切さを改めて感じて欲しいと思います。

今年度は、「教師も生徒も輝く新宮中」という目標で先生方にも生徒の皆さんにも、新たな挑戦をしてほしいと願っています。

自分を守り、周りの人も守る

ノーベル賞受賞者で、京都大学iPS細胞研究所の山中伸弥教授は、自身でHPを立ち上げ、以下のようなことを発信しておられます。

「ウイルスとの闘いは、有効なワクチンや治療薬が開発されるまで手を抜くことなく続ける必要があります。1年以上かかるかもしれません。マラソンと同じで、飛ばし過ぎると途中で失速します。ゆっくり過ぎると勝負になりません。新型コロナウイルスは難敵です。」

「新型コロナウイルスは、**すぐそこにいるかもしれないと自覚することが大切**です。桜は来年も必ず咲きます。もし人の命が奪われたら、二度と帰ってきません。1人1人が油断せず、万全の対策を取って頂きますようお願いいたします。」

新型コロナウイルスに対して、“**正しく恐れる**”ことが大切**です**。人混みを避ける、手洗いとうがい、マスクの着用、栄養とバランスのよい食事、十分な休養と睡眠等の行動をきちんと行うことが、自分や周りの人を守るにつながっていきます。

本年度は、始業式当日にお願いした時程変更を始め、様々な変更をお知らせすることになり、行事は2学期に集中することになります。しかし、無くすだけでなく、今年しかできないこと、経験させることがあるのではと模索しつつ、プラス思考で、皆様と手を合わせて戦後最大の艱難と言われる新型コロナウイルスと戦ってゆきたいと思えます。ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願い致します。 校長 堀 富雄